



第4回元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

ありのままの子どもを感じよう
～向き合う、寄り添う、受け止める～

第5回実行委員会議事録

H26年9月25日(木)

14:00～17:00

愛知県児童総合センター

(長久手市モリコロパーク内)

出席者:鈴木節子、岡部節美、竹内逸子、鈴木美紀、
盛本みすい、秦結香、邨瀬知香子、野田しのぶ
渡辺宏明、野々垣実里、牛田富江、十良裕樹
事務局:上野裕、阪野大介、宮崎恵梨、高阪麻子

プログラム

- 14:00 開会・あいさつ
- 14:10 進捗状況報告
- 14:30 部会
- 16:45 全体シェア
- 16:55 まとめ

部会 1 講演会部会

担当:岩倉市 岡部節美
稲沢市 鈴木節子

開会式、閉会式のセレモニーの打合せと、来賓等の対応について話し合った。

また開会式から基調講演、情報交換会、また閉会式と、同じ会場で行うため、場面転換に人手がいることを確認。

他の部会や、県児連スタッフへの依頼を検討した。少ない人数での企画運営で大変だが、協力と協働によって乗り越えていく予定。

担当委員の、明るさとバイタリティが成功のカギとなりそうだ。

開会式

準備する物のリストアップ。

検討事項の洗い出し。

シナリオ作成の打ち合わせ。

会場の場面転換のシミュレーション。

基調講演

講師との確認事項...

必要物品...10月20日までに確認

当日の来場、退場のスケジュール

控室での対応について

謝礼についての準備

閉会式

情報交換会終了から閉会式までの流れと場面転換シナリオ作成の打ち合わせ。

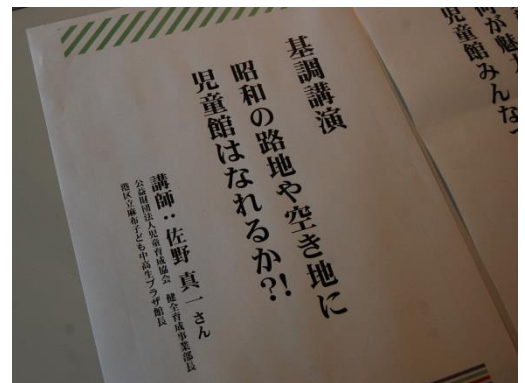
アンケート回収の場所と、準備

県児連役員さんをお願いする事

開会式が始まる1時間前から、会場準備...多数

控室での講師対応...2人

会場転換...2人 写真撮影...1人



部会 2 広報・情報交換会部会

担当:津島市 牛田富江

北名古屋市 十良裕樹 (豊橋市 安藤智人)

担当同士がなかなか集まらないため、苦戦中。

部会でやらなくてはならないこと、とスケジュールの確認。

情報交換会の内容と準備。楽しく、新しい形で厚生員同士が交流できるように企画中。



部会3 分科会部会

第1分科会【魅力ある児童館】

担当：長久手市 竹内逸子、清須市 鈴木美紀

第1分科会は唯一講師がいない分科会となり、県内の児童厚生員によるそれぞれの事例発表から、児童館の魅力を探ろうという分科会になりました。より身近な事例から、どうやって「魅力」のキーワードを探していくかを検討中です。

打ち合わせたこと

事例発表者

- ・伝達事項確認
- ・来場、退場等スケジュール確認

流れの確認

- ・3人の発表者による事例紹介
- ・グループワーク形式での話し合い
(自分の児童館に取り入れてみたい所を見つける)
- ・意見をまとめ、発表する
- ・3人の事例発表者に質問等

申込が締め切り後、6～8人程でグループを作る、シナリオの作成、分科会企画書の確認。



第2分科会【親支援】

担当：半田市 盛本みすい、弥富市 秦結香

第2分科会は頼もしい講師の先生との打ち合わせが済んでおり、担当者の意図もしっかり伝えたいうでの打合せだったので、短い時間ながら有意義だった。その上で、どういう風に参加者の意見を出していくかなど、細かなところを検討していく段階になっている。

打ち合わせたこと

・二人の役割担当

盛本・・・はじめのあいさつ、アドバイザー紹介、グループワークの説明、アドバイザー講話

秦・・・アイスブレイク、グループワークの発表、終わりのあいさつ

・県児連の方にお願ひすること

受付(名簿の確認、資料・レジユメをわたす、グループの場所を知らせる、アイスブレイクの用紙に始めるまでに机上のプロッキーで書いておくことを伝える)

その後、写真をとるかグループについてもらう→次回決定

・宿題

岡先生に当日の動きなどを確認、レジユメをつくるシナリオをつくる



第3分科会【子どもの自己肯定感】

担当：一宮市 野田しのぶ、弥富市 邨瀬知香子

第3分科会は、自己肯定感という言葉をとらえやすくするために、「子どもたちのキラキラを見つける」という取り組みやすい言葉に言い換えた。

参加者からたくさんの意見が出るよう工夫していく。

- ◎ 県児連の方に協力お願いする。(2名ほど)
- ◎ 受付の時間 12時15分から
- ◎ 参加証の中に入れてほしい事項をあれば考える。
- ◎ 開会式は参加、講演は無理
- ◎ 講師の先生に交通手段を聞く
朝からの参加希望かどうか聞く(拘束時間)
レジュメに添付するプリントがあるかどうか聞く
用意するものがあるかどうか
- ◎ アンケートは無し



第4分科会【遊びの本質】

担当：名古屋市 渡辺宏明、清須市 野々垣実里

第4分科会は講師を2人招いて、事例発表からグループワークまで盛りだくさんの予定。

「遊びについてもう一度しっかり考えたい」という担当の熱い気持ちがあふれている分科会。打ち合わせたこと

9/11の講師との打ち合わせで組み立てたプログラムの流れの把握、内容の共有・検討。

→考えの相違や言葉の表現で意味が取りにくいところがあったため、再度講師の方と共にプログラムの流れ内容を相談、検討していく。

- ・分科会当日の司会進行の分担→担当部分のシナリオを各自考え、検討する。
- ・その他-分科会当日の各事項について
(県児連役員のヘルプ・講師との最終打ち合わせ・参加者の持ち物など)



振り返って

大会実施日まであと1か月となり、どこも部会も少しずつ焦ってきました。大枠の企画は固まったものの、タイムスケジュールや必要な物品など詳細を決めるにあたって、まだまだ詰めていかなければいけない内容が次々と現れ、「あれもやらなければ」「これもやらなければ」と課題がますます山盛りになりました。

分科会の担当は、講師の先生との打合せも実施予定です。講師の先生との打合せは、実行委員だけの特別講義のような価値ある時間となりますので、楽しんでいきたいと思えます。

次回開催日

平成26年9月25日(木)

14:00～17:00

愛知県児童総合センター

3階研修室

「内容検討、詳細を決める」